

ASLAYAR^{アスレイヤ}

改質アスファルト防水 常温複合工法

ASLAYAR

－アスレイヤー



改質アスファルトルーフィングと 常温塗膜材を融合した常温複合工法

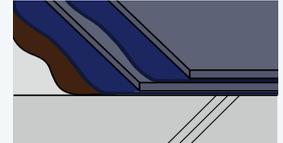


Point
01

優れた水密充填性と防水耐久性

～塗ると貼るの複合工法～

改質アスファルトルーフィングが防水層としての耐久性を、改質アスファルト系塗膜防水が水路をふさぐ高い水密性を、二つが融合することで、アスファルト防水と同等の安心感が得られます。



Point
02

火を使えない現場に最適

火を用いることなく施工できるため、火気禁止の現場でも安心して採用いただけます。



Point
03

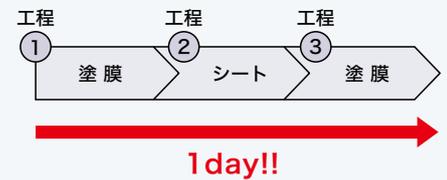
工期短縮・スピーディ

1日で上掛けまで施工可能※

気温に左右されにくい、2液反応硬化型塗膜材を用いることで、夏も冬もしっかり塗膜が硬化します。

規模に応じて1日で上掛け工程までの施工が可能となります。

※塗膜2工程・シート1工程の場合。面積や作業人員により異なります。



Point
04

屋内での施工環境に配慮

環境対応溶剤を使用し、「F☆☆☆☆」および「VOC(揮発性有機化合物)自主規制表示登録」を取得しています。

屋内においてもホルムアルデヒドおよびVOCを心配することなく、ご使用になれます。

※屋内での施工時は換気を充分に行ってください。

F☆☆☆☆について

2003年7月の建築基準法改正により、内装仕上げ材に使用するホルムアルデヒドを拡散する建材の使用制限が定められています。

F☆☆☆☆	制限なしに使える
F☆☆☆	使用範囲が制限される
F☆☆	使用範囲が制限される
無等級	使用禁止

アスレイヤー防水工法



レイヤコート攪拌



レイヤルーフ貼付

主な使用材料



レイヤコートA剤

レイヤコートB剤

レイヤコート立上り用 B剤

レイヤルーフ

屋上保護 防水工法に



浴室・厨房・トイレなど

屋内防水 工法に



人工地盤等 外構防水に



アスレイヤは熱アスファルト防水の良さを受け継いでいます

熱アスファルト防水の良さ

「アスファルト」という素材そのものの防水性

ノアの方舟の時代から、防水材料として使われてきたアスファルト。その確かな防水機能は現代まで息づき、その信頼性の高さは、多くの重要建築物で採用され続けていることが証明しています。

層(Layer)を重ねる「積層工法」であること

アスファルト防水の信頼性を支える重要なポイントが「積層工法」であることです。層を重ねることで水の浸入するリスクが減り、防水信頼性が向上します。



貼る防水(ルーフィング)と塗る防水(塗膜)の複合であること

シート防水は、その接合部の水密性が鍵となり、塗膜防水は、塗膜の耐久性や厚みの確保が鍵となります。シートと塗膜の良さを併せ持ち互いの弱点を克服した工法が、アスファルト防水です。



アスレイヤは……

ルーフィングを用いたアスファルト防水工法

アスレイヤは改質アスファルトルーフィングをその心臓部に用いた、アスファルト防水工法です。

ルーフィングと改質アス塗膜を積層する防水工法

アスレイヤは改質アスファルト系塗膜材を用いてルーフィングを流し貼りし、その上に塗膜をオーバーコートします。層を重ねることで、アスファルト防水の信頼性を確立しています。

貼る防水と塗る防水の複合工法

アスレイヤは貼る防水の長所(強度・厚み等)と、塗る防水の長所(水密性・納まり等)を兼ね備えた、アスファルト防水の良さを受け継いだ複合工法です。

仕様番号の見方

AL

アスレイヤ

AL アスレイヤ

ALV アスレイヤ 立上り

-

200

層数

1 1層 200 2層・断熱

2 2層 300 3層・断熱

3 3層

M

工法

M 密着

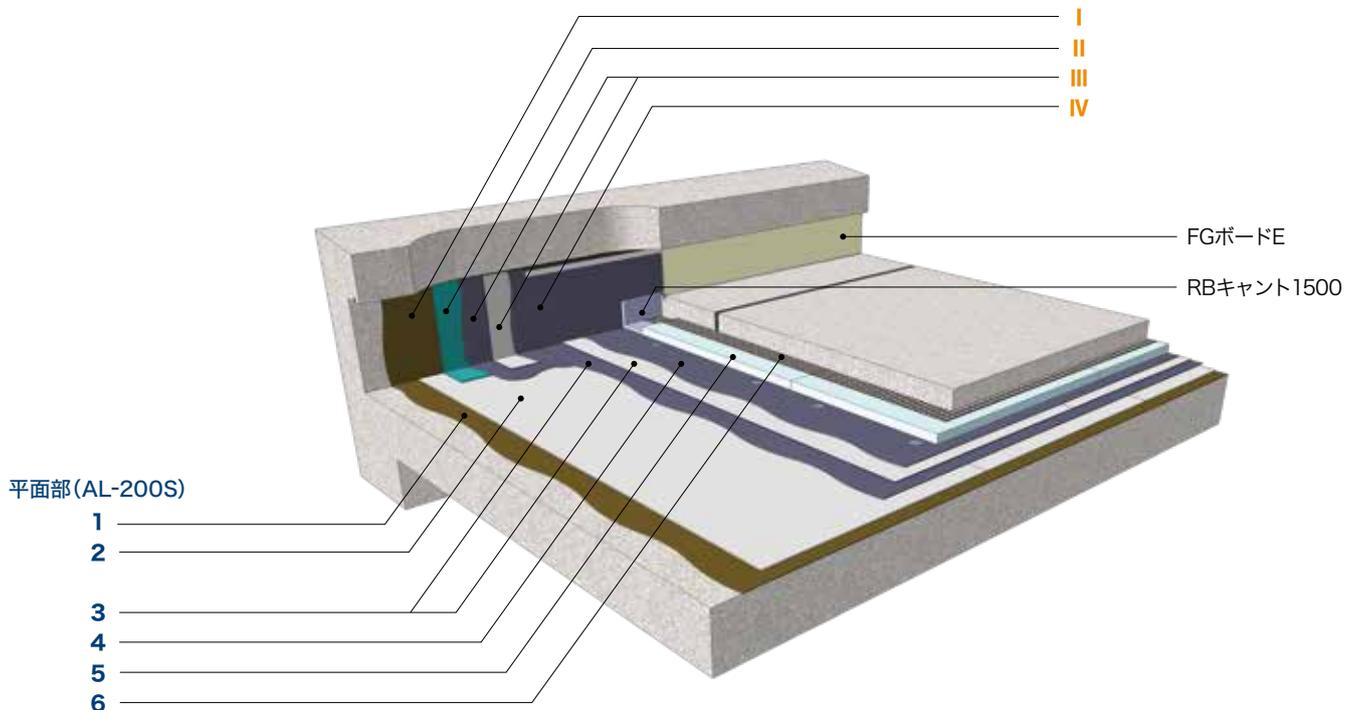
S 絶縁

押えコンクリート仕上げ(断熱)

屋上 屋内 外構

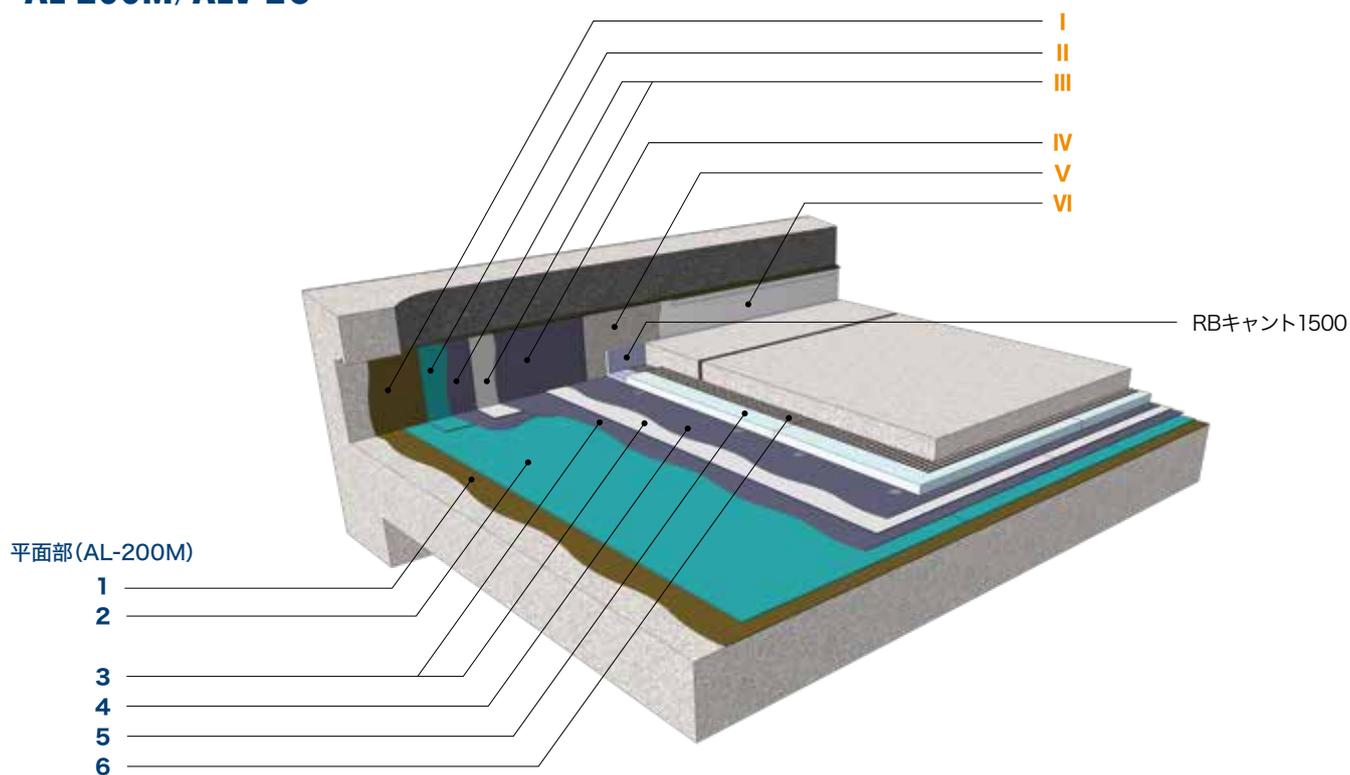
AL-200S/ALV-2A

立上り部(ALV-2A)



AL-200M/ALV-2C

立上り部(ALV-2C)



平面部

絶縁工法

AL-200S

防水層重量目安: 7kg/m² (断熱35mmの場合)

	平面部	(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	レイヤベースFS	-
3	レイヤルーフ レイヤコート・塗布貼付	1.2kg
4	レイヤコート	0.8kg
5	RBボードまたはスタイロフォームRB-GK-II (レイヤコート点貼り)	-
6	絶縁クロス1000(レイヤコート点貼り)	-

密着工法

AL-200M

防水層重量目安: 7.5kg/m² (断熱35mmの場合)

	平面部	(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	レイヤベースF	-
3	レイヤルーフ レイヤコート・塗布貼付	1.2kg
4	レイヤコート	0.8kg
5	RBボードまたはスタイロフォームRB-GK-II (レイヤコート点貼り)	-
6	絶縁クロス1000(レイヤコート点貼り)	-

立上り部

保護工法(乾式パネル、モルタル、コンクリート押え等)※

ALV-2A

	立上り部	(単位:/m ²)
I	水性プライマーAS	0.2kg
II	レイヤベースF	-
III	レイヤルーフ レイヤコート 立上り用・塗布貼付	1.2kg
IV	レイヤコート 立上り用	0.8kg

ALV-2D

	立上り部	(単位:/m ²)
I	水性プライマーAS	0.2kg
II	レイヤルーフ レイヤコート 立上り用・塗布貼付	1.2kg
III	レイヤルーフ レイヤコート 立上り用・塗布貼付	1.2kg
IV	レイヤコート 立上り用	0.8kg

ALV-2H

	立上り部	(単位:/m ²)
I	水性プライマーAS	0.2kg
II	レイヤコート 立上り用	0.8kg
III	マットFC	-
IV	レイヤコート 立上り用	1.2kg
V	レイヤコート 立上り用	0.8kg
VI	マットFC	-
VII	レイヤコート 立上り用	1.2kg
VIII	レイヤコート 立上り用	0.8kg

露出仕上げ(砂付ルーフィング)

ALV-2C

	立上り部	(単位:/m ²)
I	水性プライマーAS	0.2kg
II	レイヤベースF	-
III	レイヤルーフ レイヤコート立上り用・ 塗布貼付	1.2kg
IV	レイヤコート立上り用	0.8kg
V	ガムクールキャップ	-
VI	保護塗料	-

※立上り部を保護モルタル仕上げとする場合、上記工程に「Pシート」を追加してください。(Pシート、メタルラスの価格は別途)

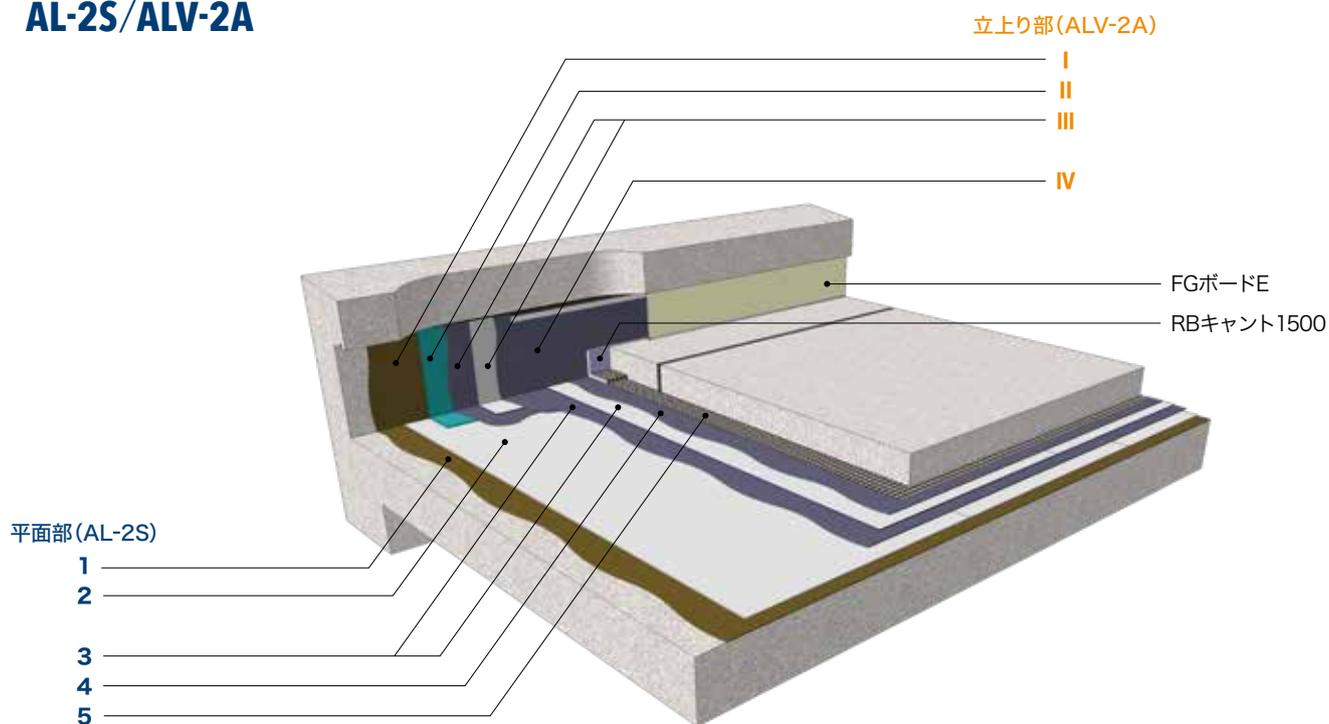
注意事項

- ・密着工法の場合、保護層打設までの間にフクレが発生することがあります。状況に応じて絶縁工法の採用をご検討ください。
- ・立上り部にレイヤベースを用いて復層仕上げとする仕様、ならびに立上り露出仕上げとする仕様では、端部に押え金物による固定を行うことを原則とします。
- ・立上り端部を押え金物を用いずに納める場合はご相談ください。・保護モルタル工事の留意点については9ページをご参照ください。
- ・水性プライマーASの代わりにOTプライマーA(0.2kg/m²)を使用する場合もあります。その他のプライマーについてはご相談ください。
- ・立上りALV-2C仕様における保護塗料の種類と塗布量については13ページをご覧ください。
- ・RBキャント1500、FGボードEの価格は別途となります。

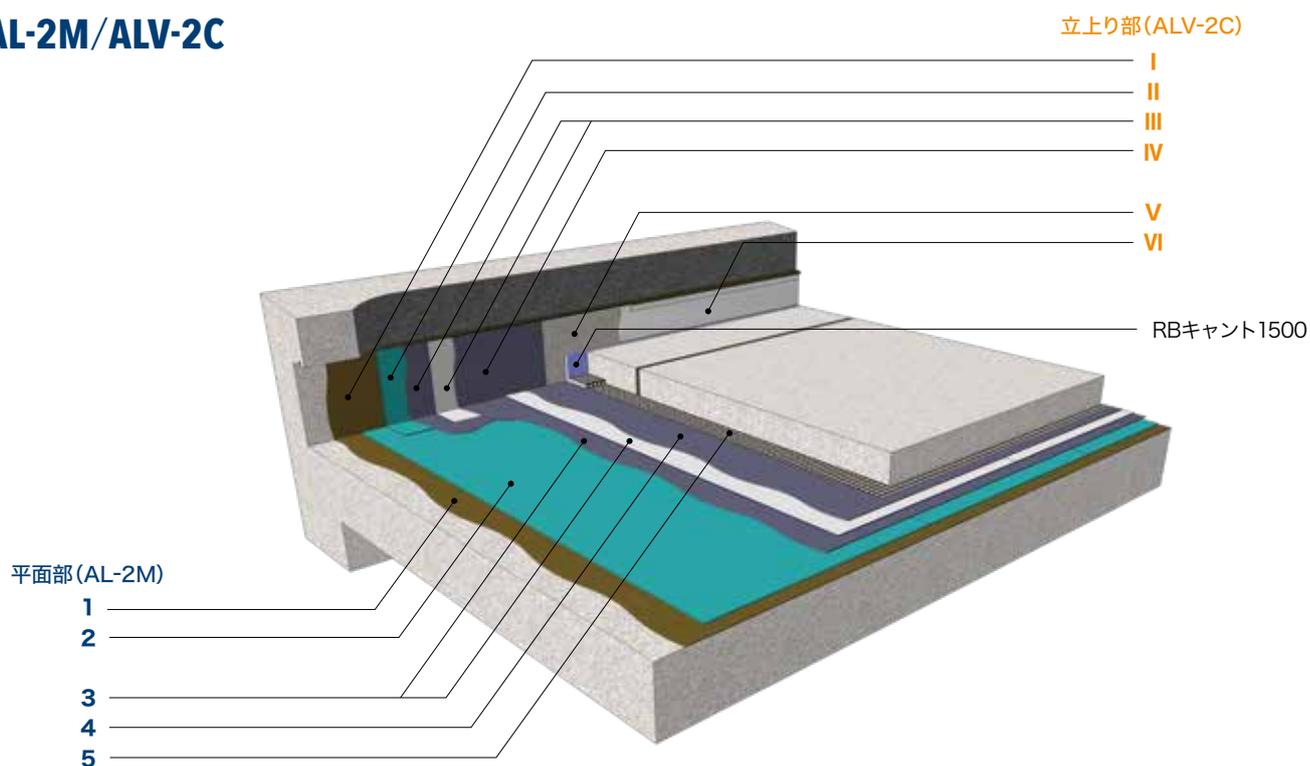
押えコンクリート仕上げ(非断熱)

屋上 屋内 外構

AL-2S/ALV-2A



AL-2M/ALV-2C



平面部

絶縁工法

AL-2S

防水層重量目安: 6kg/m²

	平面部	(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	レイヤベースFS	-
3	レイヤルーフ レイヤコート・塗布貼付	1.2kg
4	レイヤコート	0.8kg
5	絶縁クロス1000(レイヤコート点貼り)	-

※平面部をモルタル仕上げにする場合、絶縁クロス1000は省略します。

密着工法

AL-2M

防水層重量目安: 6.5kg/m²

	平面部	(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	レイヤベースF	-
3	レイヤルーフ レイヤコート・塗布貼付	1.2kg
4	レイヤコート	0.8kg
5	絶縁クロス1000(レイヤコート点貼り)	-

※平面部をモルタル仕上げにする場合、絶縁クロス1000は省略します。

立上り部

保護工法(乾式パネル、モルタル、コンクリート押え等)※

ALV-2A

	立上り部	(単位:/m ²)
I	水性プライマーAS	0.2kg
II	レイヤベースF	-
III	レイヤルーフ レイヤコート 立上り用・塗布貼付	1.2kg
IV	レイヤコート 立上り用	0.8kg

ALV-2D

	立上り部	(単位:/m ²)
I	水性プライマーAS	0.2kg
II	レイヤルーフ レイヤコート 立上り用・塗布貼付	1.2kg
III	レイヤルーフ レイヤコート 立上り用・塗布貼付	1.2kg
IV	レイヤコート 立上り用	0.8kg

ALV-2H

	立上り部	(単位:/m ²)
I	水性プライマーAS	0.2kg
II	レイヤコート 立上り用	0.8kg
III	マットFC	-
IV	レイヤコート 立上り用	1.2kg
V	レイヤコート 立上り用	0.8kg
VI	マットFC	-
VII	レイヤコート 立上り用	1.2kg
VIII	レイヤコート 立上り用	0.8kg

※立上り部を保護モルタル仕上げとする場合、上記工程に「Pシート」を追加してください。(Pシート、メタルラスの価格は別途)

露出仕上げ(砂付ルーフィング)

ALV-2C

	立上り部	(単位:/m ²)
I	水性プライマーAS	0.2kg
II	レイヤベースF	-
III	レイヤルーフ レイヤコート立上り用・ 塗布貼付	1.2kg
IV	レイヤコート立上り用	0.8kg
V	ガムクールキャップ	-
VI	保護塗料	-

注意事項

- ・密着工法の場合、保護層打設までの間にフクレが発生することがあります。状況に応じて絶縁工法の採用をご検討ください。
- ・立上り部にレイヤベースを用いて復層仕上げとする仕様、ならびに立上り露出仕上げとする仕様では、端部に押え金物による固定を行うことを原則とします。
- ・立上り端部を押え金物を用いずに納める場合はご相談ください。
- ・保護モルタル工事の留意点については9ページをご参照ください。
- ・水性プライマーASの代わりにOTプライマーA(0.2kg/m²)を使用する場合があります。その他のプライマーについてはご相談ください。
- ・立上りALV-2C仕様における保護塗料の種類と塗布量については13ページをご覧ください。
- ・RBキャント1500、FGボードEの価格は別途となります。

押えコンクリート仕上げ(断熱)

高耐久

屋上

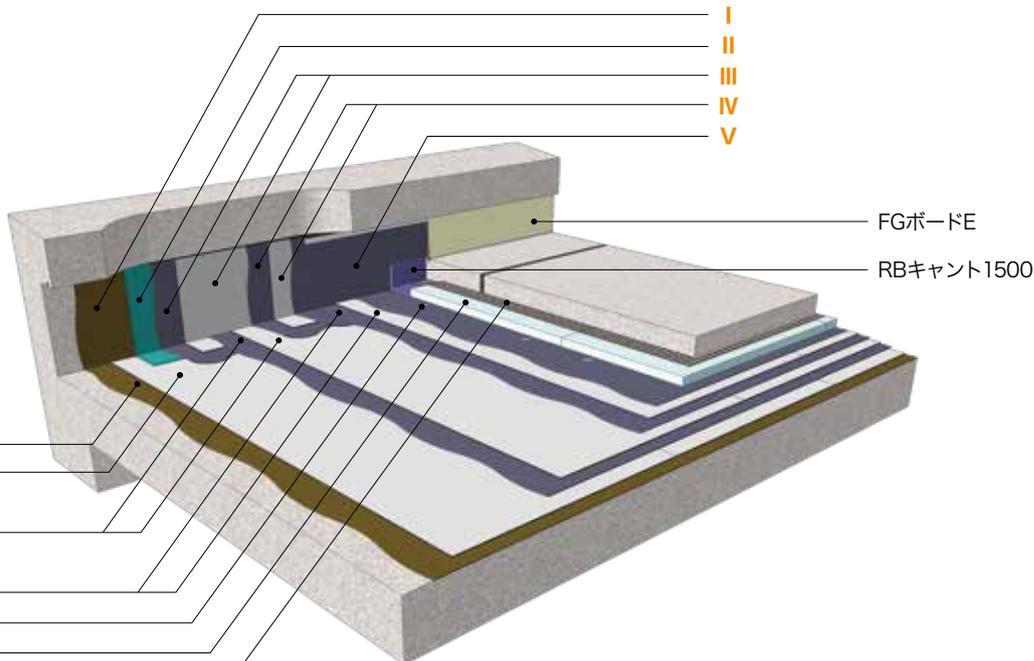
AL-300S/ALV-3

立上り部(ALV-3)

平面部(AL-300S)

1
2
3
4
5
6
7

I
II
III
IV
V



FGボードE

RBキャント1500

平面部

絶縁工法

AL-300S

防水層重量目安:8kg/m²
(断熱材:35mmの場合)

	平面部	(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	レイヤベースFS	-
3	レイヤルーフ レイヤコート・塗布貼付	1.2kg
4	レイヤルーフ レイヤコート・塗布貼付	1.2kg
5	レイヤコート	0.8kg
6	RBボードまたは スタイロフォームRB-GK-II (レイヤコート点貼り)	-
7	絶縁クロス1000(レイヤコート点貼り)	-

密着工法

AL-300M

防水層重量目安:8.5kg/m²
(断熱材:35mmの場合)

	平面部	(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	レイヤベースF	-
3	レイヤルーフ レイヤコート・塗布貼付	1.2kg
4	レイヤルーフ レイヤコート・塗布貼付	1.2kg
5	レイヤコート	0.8kg
6	RBボードまたは スタイロフォームRB-GK-II (レイヤコート点貼り)	-
7	絶縁クロス1000(レイヤコート点貼り)	-

立上り部

保護工法(乾式パネル、コンクリート押え等)※

ALV-3

	立上り部	(単位:/m ²)
I	水性プライマーAS	0.2kg
II	レイヤベースF	-
III	レイヤルーフ レイヤコート立上り用・ 塗布貼付	1.2kg
IV	レイヤルーフ レイヤコート立上り用・ 塗布貼付	1.2kg
V	レイヤコート立上り用	0.8kg

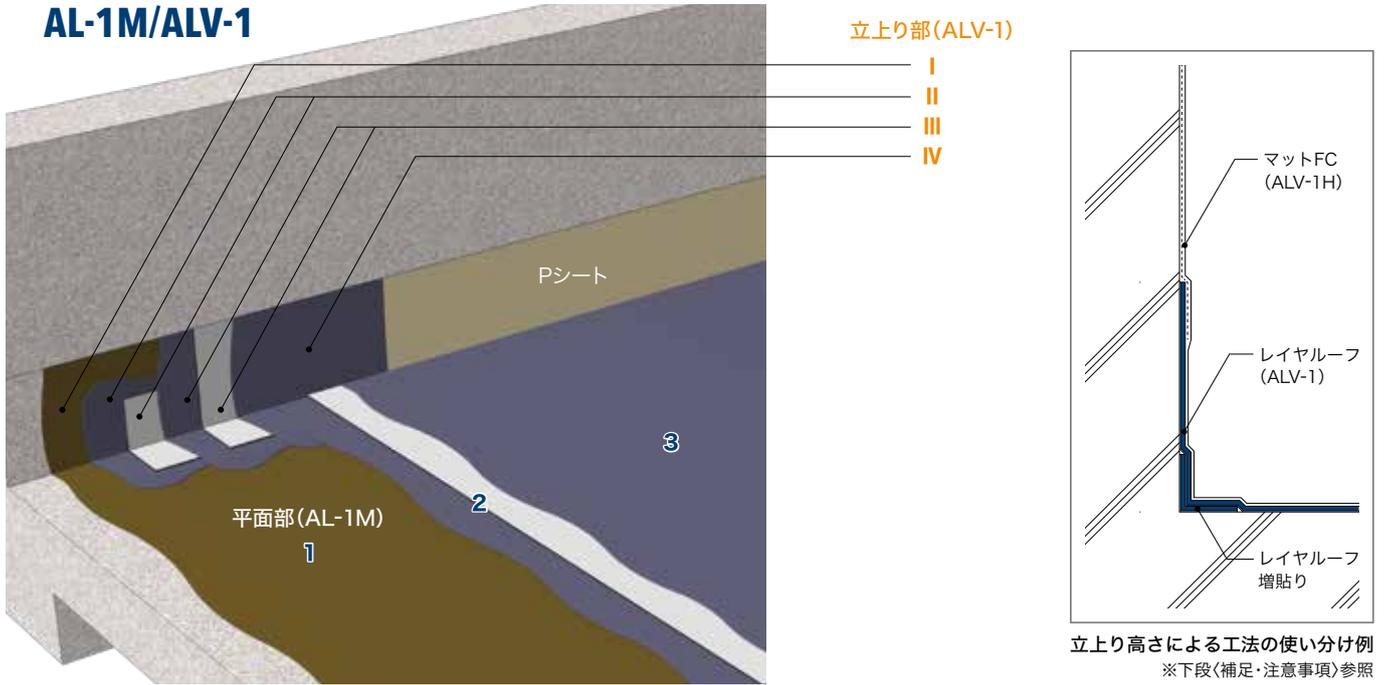
※サッシ下など狭小部位で、立上り部を保護モルタル仕上げとする場合、上記工程に「Pシート」を追加してください。

注意事項

- ・密着工法の場合、保護層打設までの間にフクレが発生することがあります。状況に応じて絶縁工法の採用をご検討ください。
- ・立上り部にレイヤベースを用いて復層仕上げとする仕様では、端部に押え金物による固定を行うことを原則とします。
- ・立上り端部を押え金物を用いずに納める場合はご相談ください。
- ・立上り部一層目のレイヤベースFに代えて、レイヤルーフをレイヤコート立上り用(1.2kg/m²)で施工する場合もあります。
- ・保護モルタル工事の留意点については9ページをご参照ください。
- ・水性プライマーASの代わりにOTプライマーA(0.2kg/m²)を使用する場合もあります。その他のプライマーについてはご相談ください。
- ・RBキャント1500、FGボードEの価格は別途となります。

屋内・外構保護仕上げ(非断熱)

屋内 外構



立上り高さによる工法の使い分け例
※下段(補足・注意事項)参照

平面部

密着工法(モルタル、コンクリート押え)※

AL-1M

防水層重量目安: 4kg/m²

	平面部	(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	レイヤーフ レイヤコート・塗布貼付	1.2kg
3	レイヤコート	0.8kg

※立上り部を保護モルタル仕上げとする場合、上記工程に「Pシート」を追加してください。

立上り部

保護工法(モルタル、コンクリート押え等)※

ALV-1

	立上り部	(単位:/m ²)
I	水性プライマーAS	0.2kg
II	コーナー増貼り (レイヤコート立上り用 1.2kg+ レイヤーフ)	
III	レイヤーフ レイヤコート立上り用・ 塗布貼付	1.2kg
IV	レイヤコート立上り用	0.8kg

※立上り部を保護モルタル仕上げとする場合、上記工程に「Pシート」を追加してください。

ALV-1H

	立上り部	(単位:/m ²)
I	水性プライマーAS	0.2kg
II	コーナー増貼り (レイヤコート立上り用 1.2kg+ レイヤーフ)	
III	レイヤコート立上り用	0.8kg
IV	マットFC	
V	レイヤコート立上り用	1.2kg
VI	レイヤコート立上り用	0.8kg

※立上り部を保護モルタル仕上げとする場合、上記工程に「Pシート」を追加してください。

注意事項

- ・外構の場合はAL-1Mの工程4の後に絶縁シートを敷設してから保護層を打設してください。
- ・立上りが高く、レイヤーフの施工が困難な場合、立上り途中から上部はALV-1H(マットFC仕様)で仕上げます。
- ・保護モルタル工事の留意点については9ページをご参照ください。
- ・水性プライマーASの代わりにOTプライマーA(0.2kg/m²)を使用する場合があります。
- ・その他のプライマーについてはご相談ください。

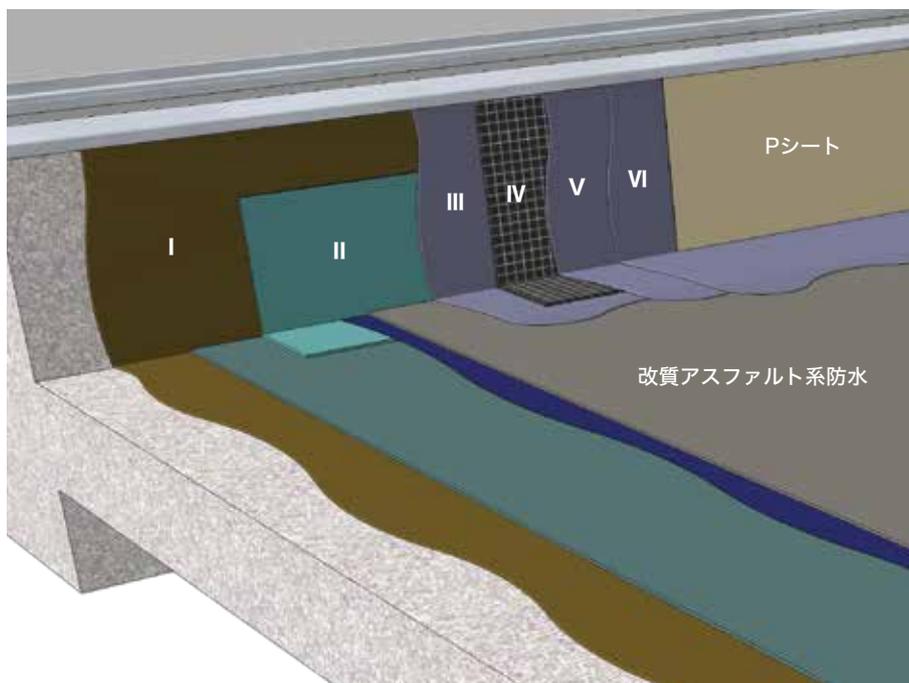
狭小・複雑・特殊部位

立上り狭小

複雑部位

改質アスファルト系防水(平面部)との組合せ

ALV-1FC



立上り部

保護工法(モルタル、コンクリート押え等)※

ALV-1FC

防水層重量目安:3kg/m²

立上り部		(単位:/m ²)
I	水性プライマーAS	0.2kg
II	コーナー増貼り*	—
III	レイヤコート立上り用	0.8kg
IV	マットFC	—
V	レイヤコート立上り用	1.2kg
VI	レイヤコート立上り用	0.8kg

*コーナー増貼りは、平面部の改質アスファルト系防水で用いる材料を使用し、平面部保護コンクリート仕上げ面より高い位置まで貼り上げてください。

※立上り部を保護モルタル仕上げとする場合、上記工程に「Pシート」を追加してください。

保護モルタル工事の留意点

日本建築学会・建築工事標準仕様書(JASS8)より抜粋

モルタル調合

セメント:砂=1:3(容積比)

とんぼ

防水層に200mm間隔程度で千鳥状に取付け

ラス類

メタルラス(平ラス2号)もしくは溶接金網

ラス類の立上がり端部

防水層立上がり端部より100mm以上上部の位置で金物を用いて下地(躯体)に固定するか、防水層末端部の押え金物に固定する。

注意事項

・平面部防水層は改質アスファルト防水層を原則とします。

・在来アスファルト防水との接続に際しては、必ず接続面にガムシールを塗布、刷毛引き、もしくはOTプライマー-Aを塗布してから本仕様を施工してください。

・水性プライマーASの代わりにOTプライマー-A(0.2kg/m²)を使用する場合があります。

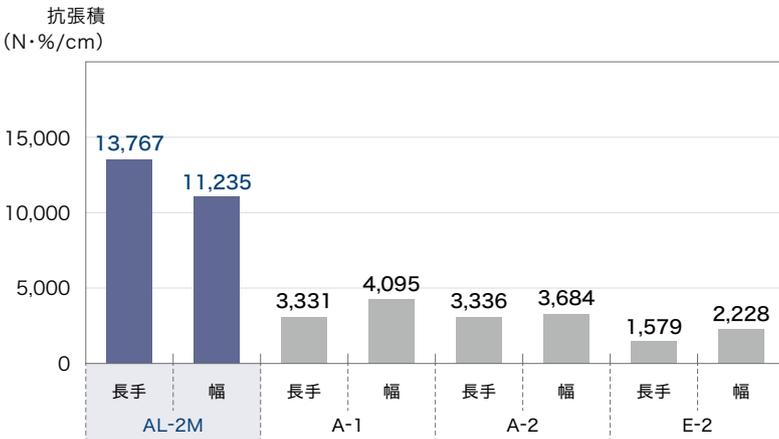
技術資料

防水層の積層効果

アスレイヤはシートと塗膜材を積層することで防水層を形成しています。

積層するメリットとして、防水層の機械的強度の向上が挙げられます。強度は「抗張積※」を用いて比較されます。

※抗張積：ルーフィングの引張り強さ(N)と最大荷重時の伸び率(%)の積で求められる、ルーフィングの破断に要するエネルギーを表す数値



【試験方法】

アスレイヤ工法と熱アスファルト防水工法(公共建築工事標準仕様)の抗張積を比較します。

アスレイヤ工法

AL-2M(密着2層)

公共建築工事標準仕様

A-1(密着4層)、A-2(密着3層)、

E-2(密着2層)

試験体を引張試験機に取り付け、速度100mm/分で試験片が破断するまで引張、最大荷重および破断時の変位量を求め、抗張積を計算します。

アスレイヤ工法は公共建築工事標準仕様と比較して、同等以上の抗張積を持つことが確認できました

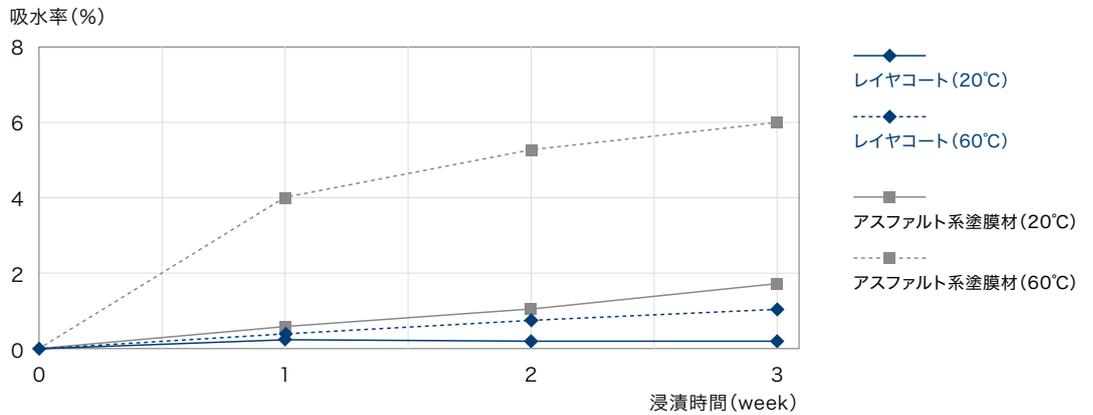
防水層の耐水性能

押えコンクリート仕上げなどでは、防水層が水分中に置かれる時間も比較的長くなる傾向にあり、その吸水性が注目されます。

【試験方法】

試験体を温水に浸漬し、初期から経時での重量変化を測定します。

()内は劣化条件温度。



アスレイヤ工法は一般的なアスファルト系塗膜材と比べ、吸水率が低いことが確認できました

施工工程(抜粋)



プライマー塗布



平面部 レイヤベースFS貼付



立上り レイヤベースF貼付



レイヤコート塗布

材料紹介

レイヤコート



常温反応型改質アスファルト塗膜材(平面部用)。

19.5kg/セット (A剤:1.5kg、B剤:18kg)

レイヤコート立上り用



常温反応型改質アスファルト塗膜材(立上り部用)。

12kg/セット
(A剤:1.5kg、立上り用B剤:10.5kg)

レイヤコート減粘剤



レイヤコート用の減粘剤。

6kg/缶

レイヤ・アウター硬化促進剤



レイヤコート、アウターコート兼用の硬化促進剤。

6kg/缶

レイヤベースF



裏面に全面粘着層を設けた改質アスファルトシート。
表面はフィルム仕上げ。

1m×16m巻

レイヤベースFS



裏面に部分粘着層を設けた改質アスファルトシート。
表面はフィルム仕上げ。

1m×16m巻

レイヤルーフ



レイヤコートによる流し貼りに適した柔軟性を持つ改質アスファルトシート。

1m×16m巻

マットFC



ポリエステル繊維を用いたアスクール補強用マット。

1,050mm×50m巻

Pシート



立上りをモルタル仕上げにする際などに使用する不織布シート。

1,020mm×20m巻

水性プライマーAS



コンクリートやモルタル下地に使用する、アスファルトと合成樹脂を配合したエマルジョンタイプのプライマー。

17kg/缶

OTプライマーA



コンクリート、モルタル下地用。
四季を問わず通年で使用できる1液型のウレタン系プライマー。

16kg/缶

速硬化OTプライマーMブルー



塗布した部分が識別しやすい青色に着色した速乾性の既存ウレタン防水用伸介プライマー。

8kg/缶

**RBボード
スタイロフォームRB-GK-II**



RBボード スタイロフォームRB-GK-II

押えコンクリート打設工法に最適な、完全ノンフロントタイプ硬質ポリスチレンフォーム断熱材。

910mm×910mm
厚さ：25、30、35、40、50、60mm

絶縁クロス1000



ポリプロピレンのフラットヤーンクロスを使用した絶縁材。
押えコンクリート仕上げ断熱工法に使用する。

1m×100m巻

強力ガムシール



ガムクール防水層の貼仕舞、ドレン、パイプ廻りなどに使用するゴムアスファルト系シール材。

330ccカートリッジ
20本/箱
20kg/缶、9kg/缶

RBキャント1500



立上り防水層を、押えコンクリートの挙動から保護する発泡ポリエチレン製緩衝材。裏が粘着面で、立上り際の下地になじむよう切込み入り。

20mm×150mm×1,500mm
34本/箱

ガムクールキャップ



複層工法に使用する砂付キャップシート。
JIS A 6013 露出複層用R種II類

1m×8m巻
厚さ：2.9mm
*特注による彩色品(新緑、赤茶)もあります。
(納期2～3週間)

OT洗浄剤



弱溶剤系洗浄剤。

15kg/缶
*減粘剤としての添加はできません。

SPファインカラー



アクリル樹脂を主成分とする、アスファルト系防水材専用エマルジョン塗料。
日射反射率50%以上の高反射塗料。

18kg/缶

SPサーモコート



アクリル樹脂を主成分とするエマルジョンと骨材で構成された、高耐久・高反射厚膜水性保護塗料。

18kg/缶

SPクリーンカラー



土、砂、花粉、珪藻類等の自然環境に起因した推積物の影響から防水層表面を保護する効果を持つ、骨材入り高反射保護塗料。

18kg/缶

SPミッドカラー



アクリル樹脂を主成分とする、アスファルト系防水材専用エマルジョン塗料。
照り返しによる眩しさを抑えた高反射タイプ。

18kg/缶

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

材料一覧

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。
 ※改質アスファルトシート類につきましては、納品時に一定の割合で1ヵ所切断している製品(2ピース品)が混在しておりますので、ご了承ください。

種類	品名	規格	備考
塗膜防水材・添加剤等	レイヤコート	19.5kg/セット (A剤:1.5kg/缶、B剤:18kg/缶)	常温反応型改質アスファルト塗膜材 平面部用
	レイヤコート 立上り用	12kg/セット (A剤:1.5kg/缶、立上り用 B剤:10.5kg/缶)	常温反応型改質アスファルト塗膜材 立上り用
	レイヤコート減粘剤	6kg/缶	レイヤコート専用減粘剤
	レイヤ・アウター硬化促進剤	6kg/缶	レイヤコート・アウターコート兼用硬化促進剤
	OT洗浄剤	15kg/缶	洗浄剤
シート類	レイヤベースF	1m×16m巻	粘着層付改質アスファルトシート
	レイヤベースFS	1m×16m巻	部分粘着層付改質アスファルトシート
	レイヤルーフ	1m×16m巻	改質アスファルトシート
	ガムクールキャップ	1m×8m巻	砂付改質アスファルトシート
プライマー	水性プライマーAS	17kg/缶	アスファルト系水性プライマー
	OTプライマーA	16kg/缶	ウレタン系プライマー(コンクリート、モルタル下地用)
	速硬化OTプライマーMブルー	8kg/缶	速乾性青色着色ウレタン系伸介プライマー(ウレタン下地用)
	KYプライマーエポ金属用	11kg/セット (主剤:8kg、硬化剤:2kg、専用シンナー:1kg) 0.55kg/セット (主剤:0.4kg、シンナー入り硬化剤:0.15kg)	金属下地用、さび止め用 エポキシ系プライマー(汎用溶剤タイプ)
断熱材	RBボード	910mm×910mm 厚さ:25、30、35、40、50、60mm	ノンフロン押出法ポリスチレンフォーム断熱材
	スタイロフォームRB-GK-II	910mm×910mm 厚さ:25、30、35、40、50、60mm	ノンフロン押出法ポリスチレンフォーム断熱材
保護塗料	SPファインカラー	18kg/缶	高反射エマルジョン系保護塗料 色:4色
	SPサーモコート	18kg/缶	高反射・防火エマルジョン系保護塗料 色:3色
	SPクリーンカラー	18kg/缶	高強度・高反射エマルジョン系保護塗料 色:3色
	SPミッドカラー	18kg/缶	高反射・低明度エマルジョン系保護塗料 色:4色
補助シート類	マットFC	1,050mm×50m巻	立上り用不織布シート
	Pシート	1,020mm×20m巻	不織布シート
	エンシンシート	450mm×8m巻	延伸性増貼りシート
	絶縁シート	1m×100m巻	ポリエチレン製絶縁用フィルム
	絶縁クロス1000	1m×100m巻	ポリプロピレン製フラットヤーンクロス
その他	強力ガムシール	330ccカートリッジ 20本/箱 20kg/缶、9kg/缶	ゴムアスファルト系シーリング材
	RBキャント1500	長さ:1,500mm 34本/箱	コーナー用緩衝材
	FGボードE	303mm×1,494mm 厚さ:15mm	立上り乾式保護ボード

保護塗料塗布量

品名	m ² あたりの塗布量(立上り部)
SPサーモコート	0.8~1.2kg (2回塗り)
SPファインカラー	0.4~0.6kg
SPクリーンカラー	0.5~0.6kg
SPミッドカラー	0.5~0.7kg

製品の取扱いと施工についての注意事項

施工時の注意点について

- アスレイヤは環境対応溶剤を使用していますが、屋内での施工時は必ず換気をしてください。
- エンシンシートには、レイヤコート、レイヤコート立上り用は接着しません。
- レイヤコートまたはレイヤコート立上り用を5日以上あけてから塗り重ねる場合は、速硬化OTプライマーMブルー(0.1kg/m²)を塗布してください。
- 塗布後硬化・乾燥するまで養生が必要です。
硬化・乾燥前のアスレイヤ防水層に水をこぼしたり、物を置いたり、歩行したりしないでください。
- 水張り試験は硬化を確認してから行ってください。
施工後24時間以上が目安ですが、硬化時間は気温や湿度、換気などの条件で変わりますので、歩行可能な状態まで硬化していれば水張り試験は可能です。

田島ルーフィング株式会社
<https://tajima.jp>

東京支店

〒101-8579 千代田区外神田4-14-1
TEL 03-6837-8888

大阪支店

〒550-0003 大阪市西区京町堀1-10-5
TEL 06-6443-0431

札幌営業所

〒060-0042 札幌市中央区大通西6-2-6
TEL 011-221-4014

仙台営業所

〒980-0021 仙台市青葉区中央1-6-35
TEL 022-261-3628

北関東営業所

〒330-0801 さいたま市大宮区土手町1-49-8
TEL 048-641-5590

千葉営業所

〒260-0032 千葉市中央区登戸1-26-1
TEL 043-244-3711

横浜営業所

〒231-0012 横浜市中区相生町6-113
TEL 045-651-5245

多摩営業所

〒190-0022 立川市錦町1-12-20
TEL 042-503-9111

金沢営業所

〒920-0025 金沢市駅西本町1-14-29
TEL 076-233-1030

名古屋営業所

〒460-0008 名古屋市中区栄1-9-16
TEL 052-220-0933

広島営業所

〒730-0029 広島市中区三川町2-10
TEL 082-545-7866

福岡営業所

〒810-0041 福岡市中央区大名2-4-35
TEL 092-724-8111